

体験の風をおこそう！立少フェスティバル

1 ねらい

国立立山青少年自然の家を子供や家族等に広く開放し、周辺の自然環境を生かした様々な自然体験活動を行い、参加してもらうことで体験活動の大切さを理解してもらうとともに、自然の家の理解、利用促進を図る。

2 期日

- ①『立少フェスティバル ～みんなでキャンプしませんか！！～』
平成28年 6月11日(土)～12日(日)【1泊2日】
- ②『立少フェスティバル ～立少雪ん子フェスティバル～』
平成29年 2月18日(土)～19日(日)【1泊2日】

3 対象

家族・グループ

4 参加人数／募集人数

- ① 692名(本館泊198名、移動テント泊61名、日帰174名)／200名
- ② 423名(宿泊173名、日帰249名)／250名(昨年度実績)

5 講師・スタッフ

- ① 国立立山青少年自然の家職員、法人ボランティア19名、
国立能登青少年交流の家職員、国立妙高青少年交流の家職員、国立若狭湾青少年自然の家職員
黒部市ふれあい交流館職員、富山県砺波青少年自然の家職員、立山芦峯ふるさと交流館職員
- ② 国立青少年自然の家職員、法人ボランティア10名、
国立若狭青少年自然の家職員、国立能登青少年交流の家職員、国立乗鞍青少年交流の家職員
黒部市ふれあい交流館職員

6 後援

富山県教育委員会、北日本新聞社

7 内容

- ①移動テント泊体験、野外炊事(野外でイタリアン)、やきつけ作り(芦峯寺郷土料理)、来拝山登山、前谷沢歩き、ポイントさがし、森のビンゴゲーム、丸太切り体験、火おこし体験、クラフト作り(コースター作り、カラマツクラフト、貝殻キャンドル作り、プラ板作り)、スラックライン体験、キャンプファイヤー
- ②クロスカントリースキー体験、かんじき散策、雪像・かまくら作り、しりすべり、チューブそり遊び、クラフト体験、雪のキャンドルウォーク、プラネタリウム

8 参加者(保護者)からの感想

- キャンプファイヤーや沢歩きなど、なかなかできないことを体験できたことが楽しかったです。何よりも子供たちがとても楽しそうでした。(6月)
- 初めてテントで寝ました。家族全員初体験で、子供たちも大はしゃぎでした。朝、鳥達のさえずりで目が覚めて幸せでした。食事はバイキングで頂けるし、アウトドア入門という感じでよかったです。(6月)
- 親子で楽しめるクラフトなどの企画がたくさんあり、幼児も小学生も楽しめた。大人も童心に帰って楽しむことができました。(2月)
- 夜のキャンドルウォークでは、昼間、自分達でつくったかまくらがきれいな姿になり、子供たちも私も感動しました。(2月)

9 成果

- 家庭ではなかなかできない野外炊事（パスタ・パン作り）や芦峯寺の郷土料理作りの活動を取り入れ、参加者から大変好評であった。
- クラフトブースは、近隣の青少年教育施設と連携し、ブースの出展をしていただいた。連携の強化を図るとともに、主担当が全体を見渡すことや、フリーの職員が手薄な所をサポートすることで、スムーズな事業運営と職員の負担軽減を図ることができた。

10 今後の課題

- リピーターの方が増えてきており、活動のマンネリ化を避けるために、新しい体験活動を探っていかなければならない。また、家族でも簡単にできるような体験かつ、日常生活でも生かせるような活動を考えていきたい。
- 多くの参加者がいるため、職員の配置やボランティアの確保等を検討していく必要がある。特に駐車場の整理や自由活動の担当等、一日中職員がいなければならないものについては、職員・ボランティアの時間割等を細かく決めておくなどして、休憩時間を確保するといった負担軽減につなげていきたい。

①みんなでキャンプしませんか！！



②立少雪ん子フェスティバル

